

## 経済学部

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

経済学部は、本学の建学の精神を実現するため、地域および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、経済学部が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、以下に示す能力を修得したと判断された者に学位を授与します。

- 経済学についての基礎知識を修得している。
- 教養教育を通じた批判的思考・論理的汎用力を修得している。
- 経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。
- 経済学に関連する幅広い教養と十分な語学力を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流できる。

### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

経済学部は、世界と日本の経済の仕組みや動向を理解、分析し、問題を解決する力を身につけることを目標とした教育課程を編成しており、経済学やデータサイエンスに関する基礎科目と専門科目、幅広い分野にわたる教養科目、様々な外国語科目を配置しています。なお、段階的な積み上げにより、基礎知識を確実に修得し、基礎知識の修得後は、学生の個人的関心に応じた学習目標の設定を可能としています。

また、学生の進路の道しるべとして、「アジア・国際経済コース」「企業・産業経済コース」「金融・証券経済コース」「地域・環境経済コース」「データサイエンスコース」の5つのコースを設定しています。

- 基礎となる経済学の諸概念を学ぶために、初年次教育として基礎科目を1年次に配置しています。また、専門分野である経済学を幅広い視点から理解していくために、人文科学、社会科学、自然科学など、他分野の知識が修得できるように教養科目（関連科目（第二分野））を配置しています。
- 経済学の専門科目については、経済学を体系的に理解するために段階的な学習に配慮しています。基礎的な知識と理解を深めるために、「経済事情 A」「経済事情 B」「経済学の考え方」「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」を1年次より選択必修科目として配置するとともに、経済学科として修得すべき関連科目（第一分野）を選択必修科目として配置しています。また、履修コースごとに設置されたコース科目は、基本的に2年次以降に配置し、経済学に対する体系的な理解を深めます。さらに、経済学において求められる情報・データを収集し活用することのできる能力を向上させるために、統計学やデータサイエンスに関する科目を配置しています。加えて、コースを超えた諸問題を学ぶために関連科目（第

一分野・第二分野)や教職関連科目を配置しています。これらの科目を履修することで経済学的思考力を涵養します。

●最新の金融市場に関する情報や金融業界の取り組み、金融機関の経営や業務内容など、生きた金融の知識を習得するために、金融の現場で働く実務家を講師として招いて行われる「特殊講義（寄付講座）」を配置しています。

●ともに学ぶ教員や仲間との関係を深め、知ること、学ぶことの楽しみを味わい、各種アカデミックスキルの習得を促し、円滑に大学での学修や生活に適応することを支援するために、1年次に「フレッシュマンセミナー」を配置しています。2年次以降は、1年次に形成した各種スキルを基盤とし、学生自身が関心のあるテーマを深め、自ら探求するとともに、個性を伸ばしていくことができるように「ソフォモアセミナー」「ゼミナールI」「ゼミナールII」をそれぞれ配置しています。これらの科目は必須科目であり、履修することでコミュニケーション能力、論理的思考力、総合的判断力を涵養します。

●外国語科目では、国際社会におけるコミュニケーション能力を涵養するために、英語（留学生は日本語）を必修とし、その他にも、ヨーロッパやアジアの国々の言語を選択科目として配置しています。また、オール・イングリッシュで学べる科目も配置しています。さらに、経済学部独自の海外研修プログラムも配置しています。これらの科目を履修することで「読み」「書き」だけでなく、「話す」「聴く」能力を涵養します。

### 【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

城西大学経済学部は、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を身につけ、自らの個性を生かして地域や国際社会に貢献することができる教育を行います。城西大学経済学部は、以下のような人を求めます。

#### 知識・専門性・技能

●高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている。

#### 思考力・判断力・表現力

●課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。

●自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。

#### 主体的に取り組む態度

●世の中の現状を経済という観点から考え、それを学修や行動に移すことができる。

●知的好奇心をもって、入学までに培った基礎学力をさらに広げ・深めていこうとする向上心をもっている。

- 経済学を中心に、経営、政策、法律、歴史、科学、思想、文学、言語などの幅広い分野にわたる教養を身につけ、それらを自らの興味関心と結びつけて自分の世界を広げていく向上心をもっている。
- 論理的思考を修得しようとする。
- 留学、スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得など、大学内外、国内外における学びのフィールドを有機的に結び付けて、自分の学びをデザインしていく行動力をもっている。

(2023年4月入学者用)